

令和7年度 卒後評価分析部会アンケート集計結果とその分析について

昨年度の卒業生の就職した施設全てにアンケートを配布し、9月16日までの回収分を集計した

表1 配布施設及び回収状況について

	リハビリテーション学科				合計
	看護学科	PT専攻	OT専攻	CO専攻	
配布数	66	49	26	35	176
回収数	37	34	17	24	112
回収率(%)	56.1%(74.5)	69.4%(88.1)	65.4%(80.8)	68.6%(72.5)	(赤字)は昨年度

1)知識の習得についてお尋ねします。該当する番号を○で囲って下さい。  
 (ア)新人の看護師(PT or OT or CO)として人体の構造・機能に対する知識ほどの程度習得できていましたか。

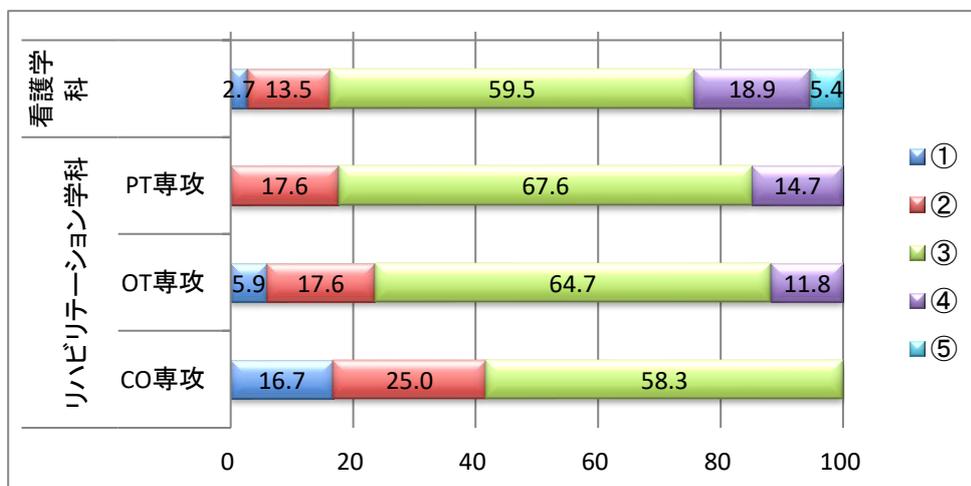
- ① 非常によく習得していた
- ② 良く習得していた
- ③ 習得していた
- ④ あまり習得できていなかった
- ⑤ 習得できていなかった

表2 設問(ア)への各学科の結果 実数

	リハビリテーション学科			
	看護学科	PT専攻	OT専攻	CO専攻
①	1	0	1	4
②	5	6	3	6
③	22	23	11	14
④	7	5	2	0
⑤	2	0	0	0
合計	37	34	17	24

表2 設問(ア)への各学科の結果 割合(%)

	リハビリテーション学科			
	看護学科	PT専攻	OT専攻	CO専攻
①	2.7	0.0	5.9	16.7
②	13.5	17.6	17.6	25.0
③	59.5	67.6	64.7	58.3
④	18.9	14.7	11.8	0.0
⑤	5.4	0.0	0.0	0.0



(イ)新人の看護師(PT or OT or CO)として疾病や障がいに対する知識はどの程度習得できていましたか。

- ① 非常によく習得していた
- ② 良く習得していた
- ③ 習得していた
- ④ あまり習得できていなかった
- ⑤ 習得できていなかった

表3 設問(イ)への各学科の結果

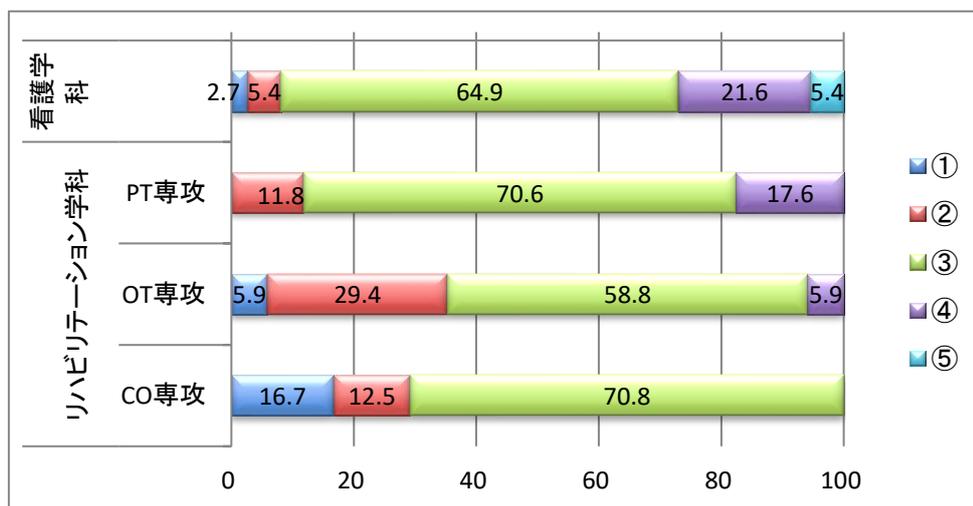
実数

	看護学科	リハビリテーション学科		
		PT専攻	OT専攻	CO専攻
①	1	0	1	4
②	2	4	5	3
③	24	24	10	17
④	8	6	1	0
⑤	2	0	0	0
合計	37	34	17	24

表3 設問(イ)への各学科の結果

割合(%)

	看護学科	リハビリテーション学科		
		PT専攻	OT専攻	CO専攻
①	2.7	0.0	5.9	16.7
②	5.4	11.8	29.4	12.5
③	64.9	70.6	58.8	70.8
④	21.6	17.6	5.9	0.0
⑤	5.4	0.0	0.0	0.0



(ウ)新人の看護師(PT or OT or CO)として看護(理学・作業・視機能)に関する専門的知識はどの程度習得できていましたか。

- ① 非常によく習得していた
- ② 良く習得していた
- ③ 習得していた
- ④ あまり習得できていなかった
- ⑤ 習得できていなかった

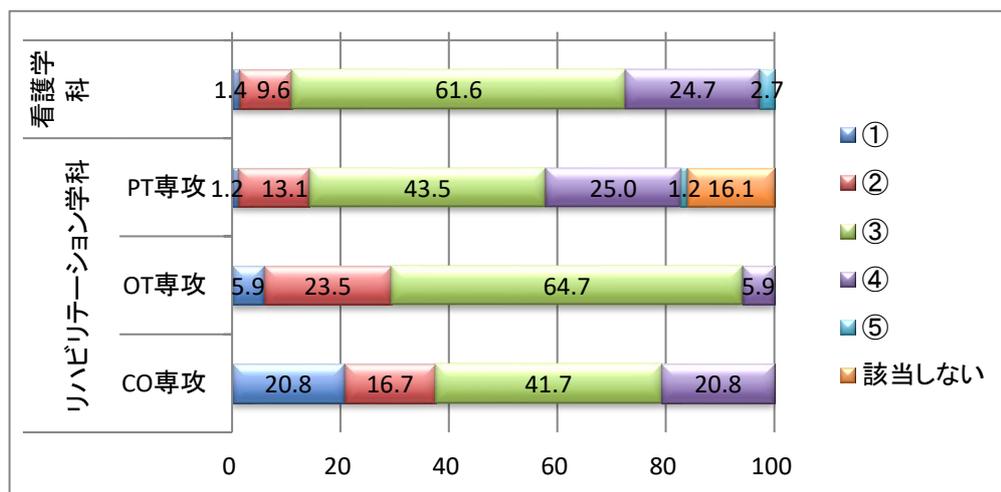
表4 設問(ウ)への各学科の結果 実数

	看護学科		リハビリテーション学科	
	PT専攻	OT専攻	CO専攻	
①	1	2	1	5
②	7	22	4	4
③	45	73	11	10
④	18	42	1	5
⑤	2	2	0	0
該当しない	27			
合計	73	168	17	24

未回答:1

表4 設問(ウ)への各学科の結果 割合(%)

	看護学科		リハビリテーション学科	
	PT専攻	OT専攻	CO専攻	
①	1.4	1.2	5.9	20.8
②	9.6	13.1	23.5	16.7
③	61.6	43.5	64.7	41.7
④	24.7	25.0	5.9	20.8
⑤	2.7	1.2	0.0	0.0
該当しない	16.1			



2. 技術の習得についてお尋ねします。該当する番号を○で囲って下さい。  
 (エ)新人の看護師(PT or OT or CO)として看護(理学・作業・視機能)に関する専門的技術はどの程度習得できていましたか。

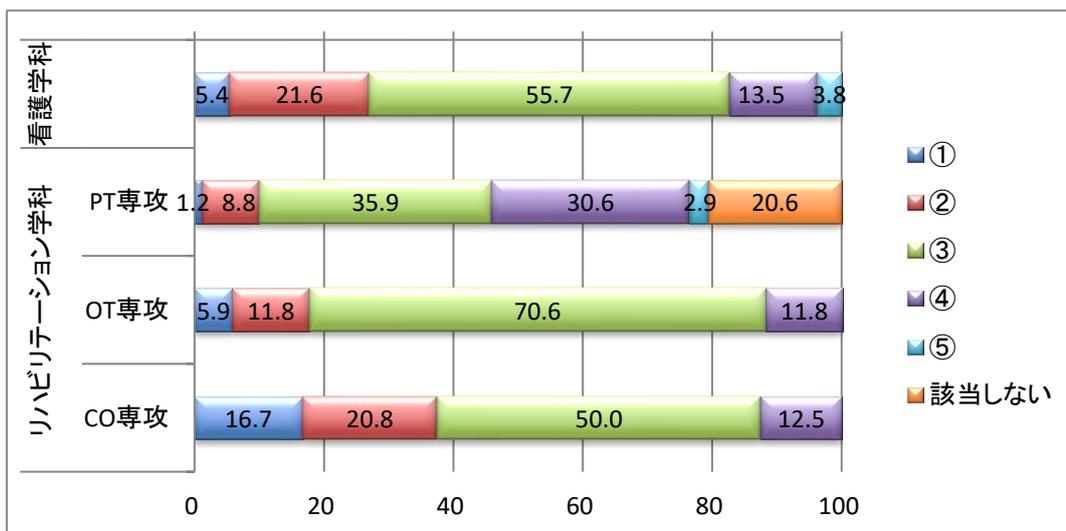
- ① 非常によく習得していた
- ② 良く習得していた
- ③ 習得していた
- ④ あまり習得できていなかった
- ⑤ 習得できていなかった

表5 設問(エ)への各学科の結果 実数

	看護学科		リハビリテーション学科		
	PT専攻	OT専攻	CO専攻		
①	10	2	1	4	
②	40	15	2	5	
③	103	61	12	12	
④	25	52	2	3	
⑤	7	5	0	0	
該当しない		35			
合計	185	170	17	24	

表5 設問(エ)への各学科の結果 割合(%)

	看護学科		リハビリテーション学科		
	PT専攻	OT専攻	CO専攻		
①	5.4	1.2	5.9	16.7	
②	21.6	8.8	11.8	20.8	
③	55.7	35.9	70.6	50.0	
④	13.5	30.6	11.8	12.5	
⑤	3.8	2.9	0.0	0.0	
該当しない		20.6			



3.問題解決能力・論理的思考力・主体的行動力の習得についてお尋ねします。該当する番号に○で囲って下さい。

(オ)新人の看護師(PT or OT or CO)として問題解決能力・論理的思考力・主体的行動力はどの程度習得できていましたか。

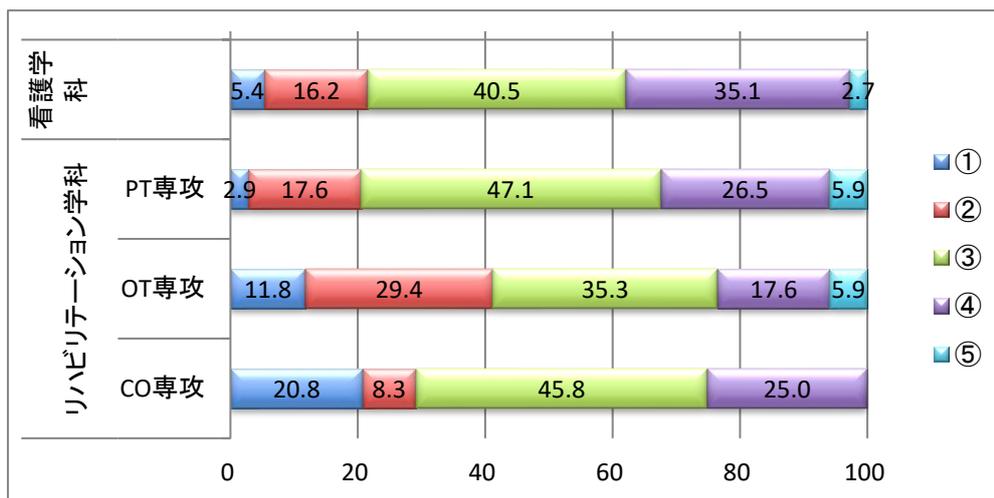
- ① 非常によく習得していた
- ② 良く習得していた
- ③ 習得していた
- ④ あまり習得できていなかった
- ⑤ 習得できていなかった

表6 設問(オ)への各学科の結果 実数

	看護学科		リハビリテーション学科	
	PT専攻	OT専攻	CO専攻	
①	2	1	2	5
②	6	6	5	2
③	15	16	6	11
④	13	9	3	6
⑤	1	2	1	0
合計	37	34	17	24

表6 設問(オ)への各学科の結果 割合(%)

	看護学科		リハビリテーション学科	
	PT専攻	OT専攻	CO専攻	
①	5.4	2.9	11.8	20.8
②	16.2	17.6	29.4	8.3
③	40.5	47.1	35.3	45.8
④	35.1	26.5	17.6	25.0
⑤	2.7	5.9	5.9	0.0



4.社会人としてのコミュニケーション能力・正しい言葉遣い・マナーの習得についてお尋ねします。該当する番号に○で囲って下さい。

(カ)新人の看護師(PT or OT or CO)として社会人としてのコミュニケーション能力・正しい言葉遣い・マナーはどの程度習得できていましたか。

- ① 非常によく習得していた
- ② 良く習得していた
- ③ 習得していた
- ④ あまり習得できていなかった
- ⑤ 習得できていなかった

表7 設問(カ)への各学科の結果

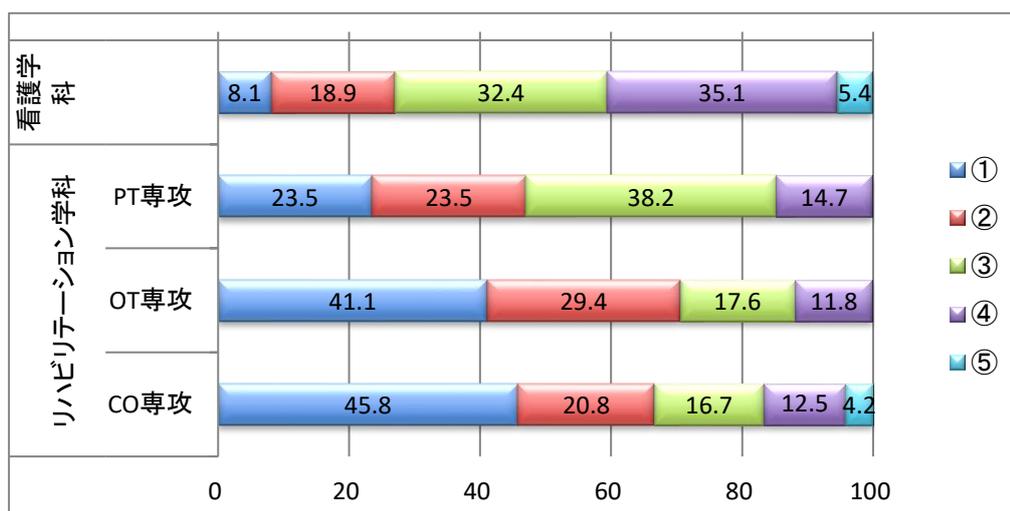
実数

	リハビリテーション学科			
	看護学科	PT専攻	OT専攻	CO専攻
①	3	8	7	11
②	7	8	5	5
③	12	13	3	4
④	13	5	2	3
⑤	2	0	0	1
合計	37	34	17	24

表8 設問(カ)への各学科の結果

割合(%)

	リハビリテーション学科			
	看護学科	PT専攻	OT専攻	CO専攻
①	8.1	23.5	41.1	45.8
②	18.9	23.5	29.4	20.8
③	32.4	38.2	17.6	16.7
④	35.1	14.7	11.8	12.5
⑤	5.4	0.0	0.0	4.2



上記設問で④⑤を選択された方にお尋ねします。

特に不足していると思われる項目を○で囲って下さい。(複数選択可)

表9 設問(カ)の追加設問への各学科の結果

実数

	リハビリテーション学科			
	看護学科	PT専攻	OT専攻	CO専攻
あいさつ	2	0	1	1
言葉使い	8	1	1	4
身だしなみ	0	0	0	0
態度	7	1	1	2
時間を守る	3	0	1	1

5.今年度入職の本学の学生は、現在どのような状況かをお知らせ下さい。

表10 設問5. への各学科の結果

	リハビリテーション学科			
	看護学科	PT専攻	OT専攻	CO専攻
現在も働いている	34	33	15	24
現在はやめている	3	0	0	0
未回答		1	2	

学科・専攻の合計

- ① 非常によく習得していた
- ② 良く習得していた
- ③ 習得していた
- ④ あまり習得できていなかった
- ⑤ 習得できていなかった

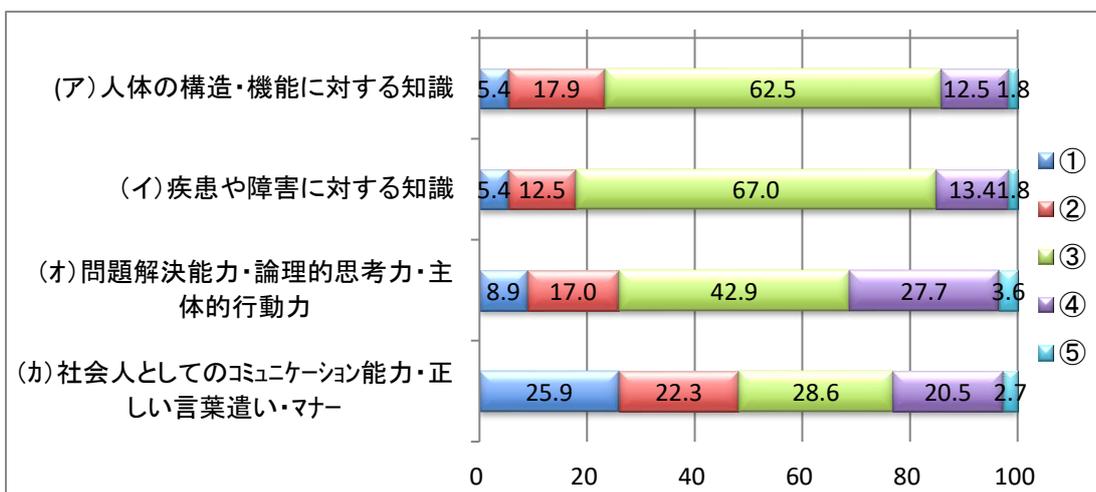
実数

	(ア)人体の構造・機能に対する知識	(イ)疾患や障害に対する知識	(オ)問題解決能力・論理的思考力・主体的行動力	(カ)社会人としてのコミュニケーション能力・正しい言葉遣い・マナー
①	6	6	10	29
②	20	14	19	25
③	70	75	48	32
④	14	15	31	23
⑤	2	2	4	3
合計	112	112	112	112

設問(ウ)および(エ)については学科・専攻で設問数が異なるため、含めない

割合(%)

	(ア)人体の構造・機能に対する知識	(イ)疾患や障害に対する知識	(オ)問題解決能力・論理的思考力・主体的行動力	(カ)社会人としてのコミュニケーション能力・正しい言葉遣い・マナー
①	5.4	5.4	8.9	25.9
②	17.9	12.5	17.0	22.3
③	62.5	67.0	42.9	28.6
④	12.5	13.4	27.7	20.5
⑤	1.8	1.8	3.6	2.7



## 4学科の合計および昨年度との比較

割合(%)

	(ア)人体の構造・機能に対する知識	(イ)疾患や障害に対する知識	(オ)問題解決能力・論理的思考力・主体的行動力	(カ)社会人としてのコミュニケーション能力・正しい言葉遣い・マナー
①	5.4(2.1)	5.4(3.5)	8.9(3.6)	25.9(15.0)
②	17.9(21.1)	12.5(16.2)	17.0(18.6)	22.3(29.3)
③	62.5(61.3)	67.0(59.9)	42.9(43.6)	28.6(35.7)
④	12.5(14.8)	13.4(19.0)	27.7(28.6)	20.5(17.1)
⑤	1.8(0.7)	1.8(1.4)	3.6(5.7)	2.7(2.9)

(赤字)は昨年度割合

## 結果のまとめ

昨年度と比べて、「習得していた以上(①～③)」の割合は(ア)人体の構造・機能に対する知識、(イ)疾病や障害に対する知識、(オ)問題解決能力・論理的思考力・主体的行動力の3項目でいずれも増加し、とくに(イ)では約5ポイントの伸びがみられた。一方、(カ)社会人としてのコミュニケーション能力・正しい言葉遣い・マナーでは、「習得していた以上」の割合がやや低下し、「あまり習得できていなかった・習得できていなかった(④・⑤)」が増加した。

## 改善すべき点

全体として、基礎知識および問題解決能力は昨年度より向上傾向がみられた一方で、コミュニケーション能力に関しては「習得していた以上」の割合が減少し、「あまり習得できていなかった」「習得できていなかった」が増加しており、依然として課題が残る結果であった。また、知識面で向上がみられた項目においても、理解のばらつきが依然として存在しており、学習水準の安定化という点ではさらなる改善が必要である。さらに、中間層(③)の割合が一部項目で減少していることから、知識定着の深度や理解度の差が拡大している可能性も示唆された。これらの点を踏まえると、学生間の学習到達度の差を縮小し、専門性に加えて社会的スキルをより確実に習得させるための学習機会の充実が求められる。

## 改善案

各学科・専攻で提出された改善案をご覧ください。